

基礎スペイン語Ⅷ

科目ナンバリング SPA-108
必修 1単位

モリス ハイメ

1. 授業の概要(ねらい)

後期の全体目標は、会話でのコミュニケーションを身につけることに重点を置き、過去と未来の出来事について話せるようになることです。言語習得に必要な4技能(聞く、話す、読む、書く)の練習を行います。後期終了時の目標は、学習した知識を応用して個人的・社会的活動を説明できることです。直説法の4つの過去形の使い分けをし、将来の計画や実際の出来事、及び仮定の表現ができるようにします。

2. 授業の到達目標

過去の出来事を伝える練習

直説法過去の4つの時制、未来形、及び過去未来形を学習します。

まず、動詞の過去形の活用と過去時制の使用法を学びます。次に過去形の練習を重ね、最後に学んだことを用いて口頭発表をします。

学生はその為の事前準備が必要です。

この学習を通じて、言語習得に必要な4つのスキル(聞く、話す、読む、書く)の強化を目指します。

後期終了時には、過去の出来事について話したり、過去の日常的な状況を説明したり、伝えたい事を平易なスペイン語で表現できるようにします。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、2回の試験、4回の口頭発表、授業への参加と出席率の評価に基づいて行います。6回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失います。

中間試験 20%
期末試験 30%
口頭発表(4x10%) 40%
平常点 10%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書はありません。テーマの要点に関する資料を授業毎に配布します。

授業は、パワーポイントを使用して行われます。

5. 準備学修の内容

授業の前にテーマについて読んでおきましょう。

6. その他履修上の注意事項

スペイン語の歌を聞いて、リスニング力を伸ばしましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション／前学期のまとめ
- 【第2回】 直説法線過去(使い方と活用)
- 【第3回】 直説法の線過去の演習と応用
- 【第4回】 口頭発表(線過去):「子供の頃」(10%)
- 【第5回】 直説法点過去(使い方と活用)
- 【第6回】 直説法の点過去の演習と応用
- 【第7回】 口頭発表(点過去):「最後の休暇」(10%)
- 【第8回】 中間試験(線過去/点過去)20% LMS
- 【第9回】 直説法現在完了(使い方と活用)
- 【第10回】 直説法過去完了(使い方と活用)
- 【第11回】 口頭発表(現在完了):「今日は最低な日だった」(10%)
- 【第12回】 未来形(使い方と活用)
- 【第13回】 過去未来形(使い方と活用)
- 【第14回】 口頭発表(未来形):「2025の私の計画」(10%)
- 【第15回】 期末試験(30%)